

◀ 後日回答及び追加質疑回答内容 ▶

■香美町ふるさと資料館について■

【質問者】

文化芸術振興計画、文化財保存活用の中で、故郷に学び、生かし、つなぐという基本方針がうたわれている。歴史文化を調査、関連ついでまとめて時代に伝える計画とされている。具体的措置の中で、香美町ふるさと資料館の整備が令和5年～7年として挙げられているが、現在の進捗状況と見通しについて教えていただきたい。

【生涯学習課】

香美町文化芸術振興計画（令和6年度～令和10年度）は、「地域の人々が多様な文化芸術に触れ、創造性・感受性を育み、心豊かで活力ある地域づくりをめざす。」を理念に、方針を「多くの町民が、文化芸術に慣れ、親しみ、楽しむ素地の形成を図る。」としております。

また、香美町文化財保存活用地域計画（令和3年度～令和7年度）において、方針を「ふるさとにまなび、いかし、つなぐ」とし、ふるさとから学ぶことによって育成された人材が、地域の歴史文化を活かして、ふるさとの魅力を未来に繋ぐための計画としております。

ご質問をいただきましたとおり、文化財保存活用地域計画の具体的な措置として、令和5年度から、香美町ふるさと資料館（仮称）の整備を検討しており、現在の進捗状況は、香美町に保管されている民具、埋蔵文化財出土品などの整理、管理を行うとともに、大学教授等有識者で組織する香美町文化財審議会において、香美町の文化財を未来に繋ぐ上で、何をどのような形で展示、保管するのが相応しいかの意見をいただくこととしております。

■上水道の強じん化について■

【質問者】

上水道の強じん化についての提案である。水道管などの耐用年数は約40年とされている。今年、村岡区村岡で水道管の漏水があり、工事に着手するようだが、村岡大字区管内の上水管は耐用年数といわれる40年を経過しているのか。

4月22日NHK放送で水道管の老朽化水道管全国機危機マップが放映されていたが、香美町の部分がはっきり理解できなかった。香美町全域の水道危機マップを早急に作成して公表していただきたい。

【上下水道課】

地方公営企業法施行規則により水道管の法定耐用年数（減価償却の期間）は40年とされていますが、製造技術の進歩や経年使用データの蓄積等によって、実使用年数については法定耐用年数の1.5～2倍である60～80年間は使用可能とされています。

村岡区の水道管整備は、昭和50年代後半に集中的に整備し、40年が経過する時期に差し掛かっています。本年度に村岡地内で漏水発生に伴う緊急修繕を行った事例もあります

が、前述のとおり実使用可能期間であると考えており、香美町全体の中で、水道管更新の優先度については、現状それほど高くはないと見込んでいます。

水道施設の老朽化は、全国の市町村共通の課題であり、各種報道で大きく問題提起され始めています。ご指摘のNHK放送における「全国水道危機マップ」は、法定耐用年数を経過した管路の割合を示す「管路経年化率」を、全国の市町村ごとに地図上に簡易的に色分けしたもので、いわゆるハザードマップとは違う性格のものであるため、香美町として町内独自に作成することはできません。放送で公表されたものは、令和3年度（2021年度）時点の「管路経年化率」が示されており、香美町の数値は8.38%です。全国的にそれほど高い数値ではありませんが、令和5年度（2023年度）の最新値では23.11%に上昇しており、今後もある程度上昇していくと見込んでいます。

給水人口の減少もあり、事業経営的に厳しい状況ではありますが、漏水対策及び管路更新に計画的に取り組み、安全・安心な水道水の供給を将来に渡って持続していくことを目指しています。

■中山間地域等直接支払制度について■

【質問者】

中山間地域等直接支払制度、第5期対策が今年度で終了するが、来年度以降の制度の概要、基本的な考え方を簡単に教えていただきたい。

生産者の高齢化、災害の影響で農業水路普及が不可能、また事務書類の作成が複雑化などで制度が利用できない場合が発生していると思う。また、耕作放棄の農地の拡大で、景観が悪く住民と有害鳥獣の生活距離が大変近くなり、生活に不安を感じている。何らかの対策を要望する。

【農林水産課】

令和7年度より次期（第6期）対策がスタートいたします。制度の概要につきましては、これまでと同様、活動組織が1ha以上の農地で5年以上継続をして農業生産活動等（農道、水路、農地の維持）を行う場合に、面積に応じて一定額を交付することとされていますが、第6期対策からは、対象農用地がこれまでの農振農用地区域内に地域計画区域内の農用地の要件が加わるため、活動区域の地域計画を策定していただく必要があります。

生産者の高齢化や事務書類の作成などリーダー的な方の不在で取組の継続を断念する地域もありますが、農業者以外の若い世代の参加を呼びかけるなど取組を要望される場合は地域で十分話し合いを行っていただきたいと思いますと考えております。

2つ目の耕作放棄地の拡大の件ですが、農地が耕作放棄となり田畑が農業に利用されなくなると雑草が生えて害虫が増えることで、野生動物が活動範囲を広げる原因となり、緩衝地帯がなくなることによって居住近くに出てくる原因ともなりますので、まずは、地域の農地保全は、所有者は勿論ですがその地域に暮らす方々で対策を行っていただく必要があると考えております。獣害対策についても、有害鳥獣捕獲班により捕獲を行っていただいております。また、県の事業で委託を行った民間事業者により、標高が高い場所をはじめとした有害鳥獣捕獲班による捕獲活動が行われていないエリアにおいて捕獲活動も行っていただいておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。

■人口減少、少子高齢化対策について■

【質問者】

第2次香美町総合計画（2021～2025）の中で香美町の主要課題の1番目に人口減少、少子高齢化への対応が最重要課題と挙げられている。

町づくりを継続的に進め、将来を見据えた施策の転換や再構築が求められていると記されている。施策を転換していること、再構築している部分について取り組まれていることを教えていただきたい。

香美町の人口が1か月約30人ずつ減少の実態で、来年の9月末15,000人割れが予想される。人口減少、少子高齢化は町行政全般的に影響が出ているように思う。住みたい町作りのため、20代、30代の世代向けの積極的施策を立て内外にアピールしていただきたい。

【企画課】

令和5年度の出生者数は香美町全体で48人という状況であり、令和元年に作成した「第2期香美町総合戦略」では、国立社会保障・人口問題研究所による推計数値によると、16年後、2040（令和22）年の香美町の人口は、10,419人、21年後の2045（令和27）年には、9,076人と予測され、少子高齢化が一層進んでいくものと考えております。

その対策として、「香美町における安定した就労の場を創出する」「香美町への新しいひとの流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「安心した暮らしを守り、周辺地域と連携する」という目標を立て、人口減少の抑制を図ることとしています。

ご質問の将来を見据え、施策の転換や再構築していることについてですが、本町のみならず、日本社会全体において、人口減少、少子高齢化は避けられない現実です。生産年齢人口も減少する中、産業におきましては人口が減少しても現在の生産額を維持していくことで活力維持を図る取組や、地域においては、これまで各区、自治会で維持してきた生活環境を、隣接する複数の区、自治会との連携を図り、生活環境を維持するなどの取組を進めています。

具体的には、農業の大規模化、集落営農の推進、また、射添まちづくり協議会のように小学校区単位で地域課題の解決を図るなどの取組を進めているところです。

■ゴミの分別について■

【質問者】

家庭ごみの分け方、出し方、分別について80歳代90歳代の高齢者が増える中で、ゴミの分別に戸惑っている。例えばペットボトルのキャップを取らないで出して返却を受けている。高齢者の方が理解しやすいように、チラシの配布やゴミステーションへ貼る大きめのポスターを作製していただき、高齢者の不安を取り除いていただきたい。（ごみ持ち帰りの原因ベスト3）

【町民課】

「家庭ごみの分け方、出し方、分別に対して何らかの対策を」についてですが、現在、町民の皆様に行っていただいております分別は、収集したごみの再資源化や、より細かな分別を行うことで処分の際に焼却炉の負担をできる限り抑え、可能な限り長期にわたる施設の運営ができ、施設の維持管理費を抑えるため、町民の皆様にご協力をいただいているところです。

今回、ご意見をいただいた件につきましては、町内各ゴミステーションにポスターを張ることは、設置個所、ポスターが古くなった際の更新等による課題もあることから、町広報誌の中に「間違えやすいごみの出し方」もしくは「不適正ゴミのパターン 上位3位」等のチラシの作成を行い、少しでも町民の皆様の負担解消に向けた検討を行っておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

■香住病院の照明について■

【質問者】

公立香住病院の駐車場が整備され、車が多く駐車できるようになったが、入口に照明がなく非常に暗い状態で、雨や雪が降ると入りにくい。駐車場の中も照明がほとんどない状態で、防犯的にも照明が必要ではないか。

【公立香住病院】

香住病院駐車場の夜間の利用については、救急の患者と夜勤職員を想定しています。東館の完成により駐車場も広くなりましたので、防犯の観点から、東館横の倉庫にライトを取り付け、駐車場全体を照らすようにしています。

駐車場入口付近につきましては、町道沿いの外灯等もないため、入口が分かりにくい状況となっておりますので、ソーラー式ライトを設置するなど、何らかの形で対応したいと考えています。

■医療費の負担について■

【質問者】

香住病院では対応不可で豊岡病院に入院した時の香美町民の負担増への助成金を支給されたい。

【健康課】

各公立病院組合が設置している病院においては、組合を構成している市町に在住されている方とその他にお住まいの方で入院時の個室使用料等に差を設けております。

それぞれ組合を構成している市町においては病院の維持運営に多くの負担金を出しているところでもありますので、こうしたことも踏まえて病院の方針として構成外のお市町の住民の皆さんには利用者負担として使用料等の加算を求めているものと考えております。

なお、本町としましては公立香住病院を将来にわたり適正に維持運営していくことに努めているところでもありますので、公立豊岡病院へ負担を行うこと、また町民の負担増へ助成することにつきましては考えておりません。